

住友理工、人とくるまのテクノロジー展 2021 ONLINE に出展

～CASE 関連「センシング」「熱マネジメント」2 領域の 5 製品を出品～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、5月26日（水）からオンラインで開催される「人とくるまのテクノロジー展 2021 ONLINE」に住友電気工業株式会社（大阪府中央区）、住友電装株式会社（三重県四日市市）と3社共同で出展します。

電気自動車（EV）の拡大や、自動運転車の技術進歩など「CASE[※]」への取り組みが加速し、自動車産業が大きな変革期を迎える中、当社はコアコンピタンスである「高分子材料技術」「総合評価技術」を駆使し、新たな製品や材料の研究・開発に積極的に取り組んでいます。

本展示会では、特に「C：Connected」「A：Autonomous」「E：Electric」に関わる当社グループの製品を展示します。

「C：Connected」「A：Autonomous」に貢献する製品として、センシング領域である、「フィルム加飾オーナメント」「車室空間デバイス」「ドライバーモニタリングシステム」を出展。

「E：Electric」に貢献する製品では、熱マネジメント領域の、「薄膜高断熱材：ファインシュライト」「電池セル間断熱材」を展示予定です。

※「C：Connected（つながる）」「A：Autonomous（自動運転）」「S：Shared & Services（シェアリング）」「E：Electric（電動化）」

<開催概要>

展示会名	自動車技術展：人とくるまのテクノロジー展 2021 ONLINE
会期	5月26日（水）～7月30日（金）
URL	https://aee.expo-info.jsae.or.jp/ja/online/

<展示品紹介>

C : Connected 対応

>> フィルム加飾オーナメント【開発品/初出展】

エンブレムなどの外装部品や、内装部品に活用できるオーナメントです。独自のフィルム貼り付け工法により、細かな凹凸の表現が可能。塗装と比較して、溶剤使用が低減できるため、環境に配慮した製品です。特殊金属調フィルムを採用することで、電波透過・光透過性能を保持し、ミリ波レーダー対応エンブレムへの適応やイルミネーション化が可能です。さらに、「フィルム+伸縮センサー」によるセンサー内蔵オーナメントの開発にも取り組んでいます。



A : Autonomous 対応

>> 車室空間デバイス【開発品】

前回出展した高機能アームレストを改良し、操作したい時にスイッチが出現する仕組みへと進化。シンプルかつ機能的なインテリアとして、より直感的な操作や快適なモビリティライフに貢献します。特定のエリアに手が近づいたことを検知してスイッチを表示するとともに、内蔵された柔軟な「スマートラバー (SR) センサ」でスイッチ動作を実現しました。また、ハプティクス (触覚) インターフェースを搭載し、電気を通す特殊なゴム材料「SR」でできた駆動装置 (アクチュエーター) がスイッチ動作への応答を振動で人に伝えます。これは、「SR」の特性を応用したもので、強弱やリズムなどさまざまな種類の振動を表現することが可能です。



>> ドライバーモニタリングシステム【プロトタイプ】

「SR センサ」をクッション形状に加工してシートの座面に設置し、「SR センサ」で計測した座面の圧力変化からドライバーの心拍数・呼吸数・体の動きなどを検知します。測定値から、疲労や居眠り、急病予兆などドライバーの状態を推定し、警告や運転支援システムの作動、外部への通報などのサービスへとつなげます。



E : Electric 対応

>> 薄膜高断熱材：ファインシュライト【初出展】

高分子材料技術を応用し、空気が動けないほど微細な、ナノサイズの細孔を持つ高断熱フィラー（シリカエアロゲル）を塗料化。不織布、成形樹脂などの基材にコーティングすることで、静止空気以上の高断熱性を発揮します。モビリティがEV化すると、すべてのエネルギーを電気で賄うことになるため、冷暖房の効果を高める本製品は、航続距離の延長に貢献します。車載用のほかに、家電や住宅、フードデリバリーなど多様な分野での活用が期待されています。

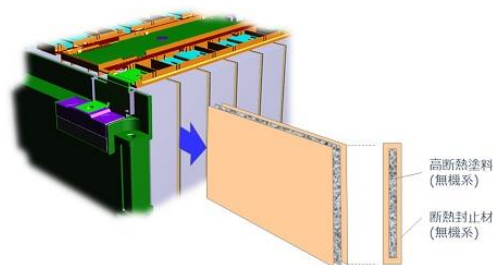


■ ファインシュライト™に関する過去のプレスリリース

<https://www.sumitomoriko.co.jp/wordpress/wp-content/uploads/2021/04/n51910543.pdf>

>> 電池セル間断熱材【開発品／初出展】

ファインシュライトのバインダー配合技術をさらに発展させ、数百℃の高温に耐えられる断熱材をEVのリチウムイオン電池向けに開発。セルが異常に発熱した際に、隣接するセルへの熱連鎖を抑制し、車両火災につながるような大事故を回避する役割を担います。顧客の要求に応じて、断熱性能や硬さなどの特性を調整し、最適化を図ります。



<注意事項>

5月26～28日に予定されていた横浜展示会は、中止となりました。

以上

--- 住友理工について ---

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制動音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、人・社会・地球の安全・快適・環境に貢献する“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>